

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 12 月 1 日

事業所名 コペルプラス深谷教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		療育の実施人数によって、個室か集団クラスの部屋を使用しています。粗大運動はプレイルームで行っています。	
	②	職員の配置数は適切である	5		規定に沿った職員を配置しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		出入口に飛び出し防止用ゲートを設置しています。 家具の角にクッション材を貼り、フロアにもスポンジシートを敷いています。	つまづかないように、職員が側で補助や見守りをし、怪我防止対策をしています。 個別の部屋、集団の教室、プレイルーム、相談室があり、用途に応じて使用しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		教材は使用后すぐに消毒を行っています。教室内は毎日消毒をしています。	感染症対策の為、教材の消毒、教室の清掃をしっかりと行っています。
業務 改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		定期的にミーティングを行っています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		結果を事業所内で検討し、改善につなげていきます。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		ホームページに掲載しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	-	-	実施なし。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		社内外の研修に参加しています。	
適切 な 支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		アセスメント後に職員で支援会議を行い、計画の作成をしています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			

の 提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5			
-------------	---	--	---	--	--	--

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		カンファレンスの時間にお子様の様子を共有しています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		カンファレンス時間に随時行っています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		前回のレッスン内容を確認し、毎回違う教材を使用するようにしています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	5		希望に応じて個別、集団活動を組み合わせて計画を作成しています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		職員間で小まめに情報共有をしています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		毎日行っています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		療育後に毎回記録をしています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		定期的に行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		療育後に毎回記録をしています。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5		必要に応じて連携をとっています。	
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	3	該当児は現在おりません。	ご利用者がいる場合は、連携を取りたいと思います。

連携関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	3	該当児は現在おりません。	ご利用者がいる場合は、連携を取りたいと思います。
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		要望があれば、保護者様に確認をとり、対応しています。	
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		要望があれば、保護者様に確認をとり、対応しています。	
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		必要に応じて連携を取り、研修に参加しています。	
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	3	現在実施なし。	現在交流はありませんが、保育所や幼稚園を併用している方には、レッスン時間の調整をしています。

	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	3	参加出来る時に参加しています。	都合をつけて参加していきたいです。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		療育の最後に毎回指導員が保護者様の方にお子様の様子を伝えていきます。	保護者様の方からお家での様子を伝えてもらい、お子様の共通理解につなげています。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5		毎月保護者様に案内し、実施しています。	まだ参加したことが無い方にもお誘いしていきたいと思います。
保護者への説明責任等	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		契約時に説明をしています。	
	㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		契約時、計画更新時に説明を行い、同意を得ています。	
	㉚	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		随時対応しています。	個別相談やペアトレの案内を行っています。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4	現在実施なし。	ペアトレの時間に保護者同士の歓談の時間を設けています。

	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		相談には随時対応しています。	普段からコミュニケーションをとり、相談しやすい状況を作っています。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		お便りを作成、ブログ、SNS 発信を行っています。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5		破棄する書類はシュレッダーにかけています。	書類は鍵付き書庫に保管しています。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		必要に応じて、絵や図を用いて説明しています。	
非常時等の対応	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2	招待は難しいですが、市の作品展にご利用者様が製作した作品を出品しました。	地域のイベントに参加出来るものがあれば、参加しています。
	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5			利用者様と職員にマニュアルを周知し、様々な事態を想定した訓練を行えるようにしたいです。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		年2回、療育時間内に地震、火事等を想定し、避難訓練を実施しています。	欠席者の把握をし、全員に実施が出来るように努めます。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		アセスメント時に確認しています。	職員にも共有をしています。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	食事の提供はしておりません。	アレルギーのあるお子様へは使用教材に気をつけ、保護者の方に確認をとっています。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		随時ヒヤリハットを記録しています。	ヒヤリハットに記録を職員間で共有し、事故防止に努めています。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		虐待防止研修を受けています。	
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		保護者の方には、契約時に説明し、同意書をいただいています。	職員全員でやむを得ず行う場合の対応を共有し、検討しています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。